

各指標からみる産業別の課題や強み

平成30年10月12日

I. 各指標からみる産業別の課題や強み

1. RIC指数と影響力係数
2. 特化係数
3. 修正特化係数と従業者比率
4. 付加価値力（生産性）

ここでは、宇治市における産業別の課題や強みを把握するため、産業連関表や各種統計データに基づき、「競争力」、「影響力」、「国内的にみた集積度」、「国際的にみた集積度」、「付加価値力（生産性）」、「雇用力」を示す6つの指標を算出し、分析を行うこととする。

1. RIC指数と影響力係数①

宇治市産業連関表に基づき、地域の産業の「競争力」と「影響力」についてみる。競争力については、競争力のある製品やサービスは域外に移輸出されているという観点に立ち、市町村の貿易収支にあたる移輸出入収支により分析する。その際、産業により規模が異なるため、移輸出入収支を当該産業の生産額で割ったのが「RIC (Revealed International Competitiveness) 指数」(競争力指数)で、「RIC指数」により競争力の比較を行うこととする。

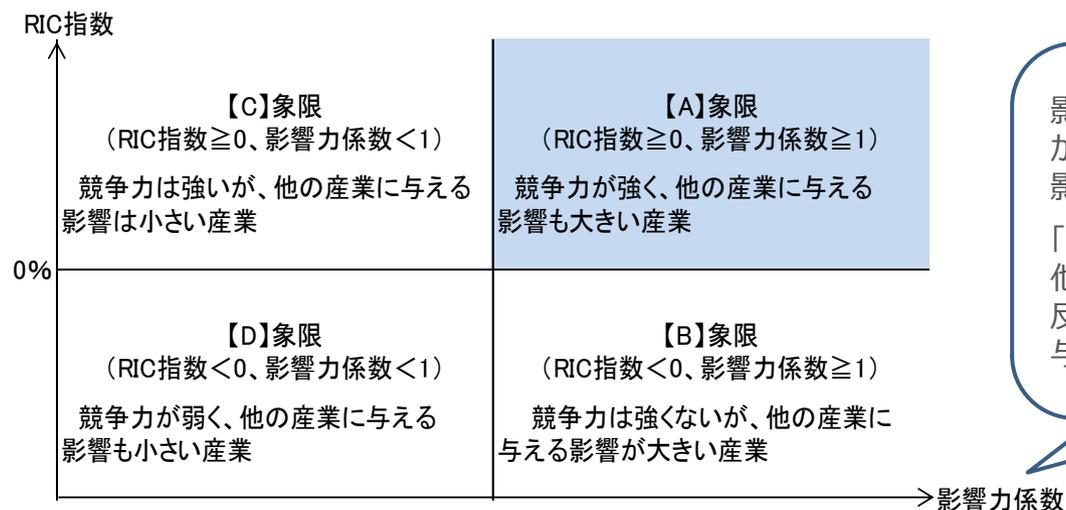
$$\text{RIC指数} = \frac{\text{移輸出入収支 (移輸出額 - 移輸入額)}}{\text{域内生産額}} \times 100$$

RIC指数は、移輸出入収支が移輸出超(黒字)の場合はプラスになり、移輸入超(赤字)の場合はマイナスになる。

また、影響力については、産業連関表において、ある産業に最終需要が発生した場合の他の産業への生産波及効果の大きさを示す「影響力係数」により比較を行うこととする。

上記指標を比較することにより、地域の基盤産業とは何かみていくこととする。「競争力」を示すRIC指数を縦軸、「生産波及効果」の大きさを示す影響力係数を横軸として散布図を作成し、RIC指数については0%、影響力係数については平均の1を基準としてグラフを4つの象限に分けて分析する。

また規模については、域内生産額に占める構成比を算出し、別表で比較することとする。こうして、作成した散布図で、RIC指数 ≥ 0 、影響力係数 ≥ 1 となる【A】象限に分布する産業が、競争力が強く、生産波及効果の大きい産業であり、加えて、生産額に占めるウェイトが大きい産業が地域の基盤産業といえるだろう。



影響力係数とは、ある産業に需要が発生したときに他の産業に与える影響の大きさを示す指標。

「1」を基準値とし、「1」を上回ると他産業へ与える影響が大きい。反対に、「1」を下回ると他産業に与える影響が小さいことを示す。

1. RIC指数と影響力係数②

宇治市産業連関表に基づき、地域の産業の「競争力」と「影響力」についてみると、「その他の製造工業製品」や「電子部品」はRIC指数が大幅なプラスでかつ、影響力係数も「1」を上回っており、域内生産額に占める割合も比較的大きい。また、「輸送機械」はRIC指数はそれほど高くないが、「影響力係数」は「1」を上回っている。

一方、「生産用機械」や「プラスチック・ゴム」はRIC指数はプラスとなっているが、「影響力係数」は「1」をやや下回っている。

第3次産業である「対個人サービス」や「商業」では、域内生産額に占める割合は比較的大きいが、RIC指数は大幅なマイナスとなっている。

なお、RIC指数が高い要因が低価格・低賃金による場合は、産業の付加価値化能力が低く、競争力を失うケースや域内の雇用の質が低いとも考えることができるため、労働生産性も踏まえたうえでみていく必要がある。

図 宇治市の業種別RIC指数と影響力係数

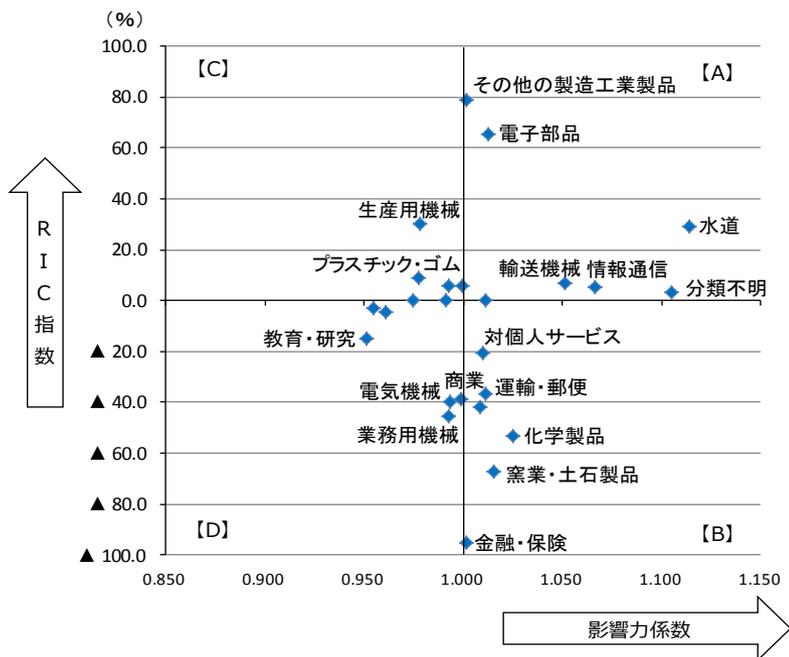


図 宇治市の業種別RIC指数と影響力係数

	業種	RIC指数(%)	影響力係数	生産額(百万円)	ウェイト(%)
1	その他の製造工業製品	78.9	1.002	88,185	9.0
2	電子部品	65.6	1.012	38,675	3.9
3	生産用機械	30.3	0.978	17,216	1.8
4	水道	28.9	1.114	7,749	0.8
5	プラスチック・ゴム	8.7	0.978	32,673	3.3
6	輸送機械	6.9	1.051	31,444	3.2
7	飲食料品	5.8	0.999	61,125	6.2
8	医療・福祉	5.7	0.992	94,432	9.6
9	情報通信	5.5	1.066	59,103	6.0
10	分類不明	3.3	1.105	6,369	0.7
11	建設	0.0	0.991	56,879	5.8
12	公務	0.0	0.975	45,328	4.6
13	事務用品	0.0	1.011	1,418	0.1
14	不動産	▲ 2.9	0.954	113,040	11.5
15	廃棄物処理	▲ 4.5	0.961	5,665	0.6
16	教育・研究	▲ 14.9	0.951	44,406	4.5
17	対個人サービス	▲ 20.7	1.010	45,732	4.7
18	運輸・郵便	▲ 36.8	1.011	36,840	3.8
19	商業	▲ 38.8	0.999	82,137	8.4
20	電気機械	▲ 39.6	0.993	9,607	1.0

注：RIC指数が▲100%超えの業種は表示していない。
出所：「宇治市産業連関表」（2014年）を基に作成。

2. 特化係数（宇治市産業連関表）

「特化係数」とは、「域内生産額における各産業の構成比」を「国内生産額における各産業の構成比」で除することで算出され、ある産業の産業全体に占める構成比が同じ産業の全国での構成比の何倍になるかを示す。「1」より大きければ全国平均に比べてシェアが大きく、特化した産業といえる。

国内生産額の産業別構成比を「1」とする特化係数を13部門でみると、不動産(特化係数1.523)、情報通信(同1.228)、公務(同1.103)の順に大きい(分類不明除く)。一方、特化係数が低い部門は、農林水産業(同0.157)や電力・ガス・水道(同0.512)などが挙げられる。

37部門でみると、製造業ではその他の製造工業製品(同8.495)、電子部品(同2.767)、プラスチック・ゴム(同2.428)が大きく、製造業以外では、水道(同1.627)、不動産(同1.523)、医療・福祉(同1.503)などが大きい。

表 宇治市の業種別特化係数（13分類）

農林水産業	0.157
鉱業	0.730
製造業	1.083
建設	1.039
電力・ガス・水道	0.512
商業	0.841
金融・保険	0.529
不動産	1.523
運輸・郵便	0.733
情報通信	1.228
公務	1.103
サービス	0.941
分類不明	1.219

表 宇治市の業種別特化係数（37分類）

農林水産業	0.157	生産用機械	1.150	不動産	1.523
鉱業	0.730	業務用機械	0.543	運輸・郵便	0.733
飲食料品	1.650	電子部品	2.767	情報通信	1.228
繊維製品	0.865	電気機械	0.613	公務	1.103
パルプ・紙・木製品	0.089	情報・通信機器	0.047	教育・研究	1.223
化学製品	0.873	輸送機械	0.662	医療・福祉	1.503
石油・石炭製品	0.028	その他の製造工業製品	8.495	その他の非営利団体サービス	0.805
プラスチック・ゴム	2.428	建設	1.039	対事業所サービス	0.351
窯業・土石製品	0.668	電力・ガス・熱供給	0.272	対個人サービス	0.831
鉄鋼	0.019	水道	1.627	事務用品	1.026
非鉄金属	0.213	廃棄物処理	1.443	分類不明	1.219
金属製品	0.423	商業	0.841		
はん用機械	0.156	金融・保険	0.529		

出所：平成26年宇治市産業連関表「産業連関表から見た宇治市経済」を基に作成。

3. 修正特化係数と従業者比率（経済センサス）

「特化係数」とは、地域における当該産業の構成比を全国の当該産業の構成比で割ったもので、全国平均を「1」として地域における特定の産業の相対的な集積度を示す。例えば、ある産業の特化係数が2.0であれば全国平均に比べて当該産業の構成比が2倍であることを示している。

また、「修正特化係数」とは、当該産業の輸出入（自足率）による補正を行い、世界における相対的な集積度を比較した指標で、「雇用力（従業者数比率）」とは、地域における特定の産業がどの程度地域における雇用の受け皿となっているかを表している。

宇治市の「集積度（修正特化係数）」と「雇用力（従業者数比率）」をみると、「電子部品・デバイス・電子回路製造業」、「プラスチック製品製造業」、「飲料・たばこ・飼料製造業」が集積度と雇用力の両面で貢献している。

そのほか、「医療業」や「食料品製造業」では集積度は1を上回り、雇用力においても高くなっている。

図 宇治市の修正特化係数と従業者数比率

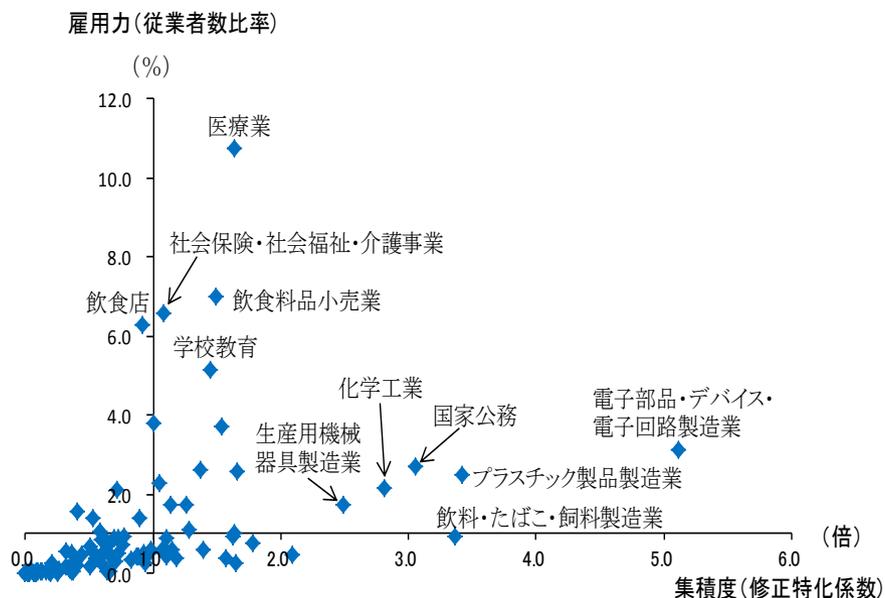


図 宇治市の修正特化係数の上位15業種

	業種	修正特化係数	従業者比率
1	電子部品・デバイス・電子回路製造業	5.11	3.11
2	プラスチック製品製造業	3.42	2.48
3	飲料・たばこ・飼料製造業	3.37	0.92
4	国家公務	3.05	2.70
5	化学工業	2.81	2.16
6	生産用機械器具製造業	2.49	1.72
7	保健衛生	2.09	0.46
8	宗教	1.78	0.77
9	その他の教育, 学習支援業	1.65	2.55
10	水道業	1.65	0.27
11	医療業	1.64	10.74
12	各種商品小売業	1.64	1.02
13	その他の製造業	1.62	0.94
14	通信業	1.57	0.39
15	食料品製造業	1.53	3.71

出所：総務省統計局 地域の産業・雇用創造チャート－統計で見る稼ぐ力と雇用力－「平成26年経済センサス－基礎調査」を基に作成。

4. 付加価値力（生産性）

6つの指標のうち「付加価値力（生産性）」を示す指数として「1人当たりの付加価値額」を算出している。ここでは、宇治市産業連関表における業種別の粗付加価値額を平成26年経済センサスの業種別従業者数で割って算出している。

「1人当たりの付加価値額」（単位：万円）＝

「業種別の粗付加価値額」／「業種別従業者数」

また、「雇用力」を示す指数として、業種別の従業者数が市内全体の従業者数（ともに平成28年経済センサスの従業者数により算出）に占める「従業者数比率」を算出し、地域における雇用に貢献しているかをみていくこととする。

「従業者数比率」（単位：％）＝

「業種別の従業者数」／「宇治市全体の従業者数」×100

業種別の1人当たりの付加価値額

業種	1人あたり付加価値額 (単位：万円)
全産業	789
製造業	791
製造業 (その他製造工業製品を除く)	565

業種別の1人当たりの付加価値額

業種	1人あたり付加価値額 (単位：万円)
不動産	8,322
電力・ガス・熱供給	5,809
情報通信	5,676
その他の製造工業製品	3,575
石油・石炭製品	2,481
鉱業	1,988
水道	1,968
金融・保険	1,282
輸送機械	1,118
廃棄物処理	1,019
建設	961
公務	928
運輸・郵便	862
鉄鋼	739
窯業・土石製品	707
飲食料品	690
はん用機械	645
生産用機械	600
教育・研究	593
化学製品	559
電気機械	542
プラスチック・ゴム	524
電子部品	492
商業	476
医療・福祉	474
対事業所サービス	415
農林水産業	411
その他の非営利団体サービス	373
業務用機械	361
対個人サービス	310
繊維製品	295
金属製品	244
非鉄金属	209
パルプ・紙・木製品	197
情報・通信機器	92

Ⅱ．各指標からみる産業別の課題や強み

ここでは、産業関連表や各種統計データに基づき、「競争力（RIC指数）」、「域内波及力（影響力係数）」、「国内的にみた集積度」、「国際的にみた集積度」、「付加価値力（1人当たりの付加価値額）」、「雇用力（従業者数比率）」の6つの指標を一覧表にし、産業別の課題や強みをみていくこととする。

各指標からみる産業別の課題や強み（全産業、製造業）

ここでは宇治市における業種別の各種指標を一覧にすることで課題や強みを把握していく。

宇治市産業連関表に基づき、外貨獲得力は「RIC指数」、域内波及力は「影響力係数」を用いている。また、集積度を示す特化係数については、大分類では宇治市産業連関表における生産額に基づく数値、中分類では平成26年経済センサスの従業者数に基づく数値を用いている。

付加価値力を示す「1人当たりの付加価値額」は、宇治市産業連関表と平成26年経済センサスに基づき算出し、雇用力は平成28年経済センサスに基づき、業種別の「従業者数比率」を算出している。

なお、RIC指数が高い要因が低価格・低賃金による場合は、産業の付加価値化能力が低く、競争力を失うケースや域内の雇用の質が低いとも考えることができるため、労働生産性も踏まえたうえでみていく必要がある。また、特化係数、修正特化係数については、総務省「地域の産業・雇用創造チャートー統計で見る稼ぐ力と雇用力ー」のデータに基づくため、平成26年経済センサスのデータを用いている。

表 宇治市における全産業の各指標

大分類（宇治市産業連関表）				
産業連関表業種分類		特性		
コード	業種	項目	特性値	出所
	全産業	外貨獲得力（RIC指数）	▲ 13.41	宇治市産業連関表
		域内波及力（影響力係数）		宇治市産業連関表
		特化係数（生産額ベース）		宇治市産業連関表
		修正特化係数（従業者数ベース）		経済センサス （平成26年）
		付加価値力（単位：万円、 1人当たりの付加価値額）	789	宇治市産業連関表
		雇用力（従業者数比率）		経済センサス （平成28年）

表 宇治市における製造業の各指標

大分類（宇治市産業連関表）				
産業連関表業種分類		特性		
コード	業種	項目	特性値	出所
	製造業	外貨獲得力（RIC指数）	3.79	宇治市産業連関表
		域内波及力（影響力係数）	1.14	宇治市産業連関表
		特化係数（生産額ベース）	1.08	宇治市産業連関表
		修正特化係数（従業者数ベース）		経済センサス （平成26年）
		付加価値力（単位：万円、 1人当たりの付加価値額）	791	宇治市産業連関表
		付加価値力（単位：万円、 1人当たりの付加価値額） （その他の製造工業製品を除く）	565	宇治市産業連関表
		雇用力（従業者数比率）	20.62	経済センサス （平成28年）

出所：「宇治市産業連関表」（2014年）、経済センサス（平成26年、平成28年）データを基に作成。

各指標からみる産業別の課題や強み（農林水産業）

「農林水産業」の生産額が市内生産額に占める割合は0.2%と小さい。

大分類で競争力と影響力についてみると、影響力係数は標準値である「1」に近いが、移輸出入収支が大幅なマイナスであることから、RIC指数が大幅なマイナスとなっている。

集積度については、大分類（生産額ベース）では0.16、中分類（従業者数ベース）では国内における集積度を示す特化係数は0.87、国際的な集積度を示す修正特化係数は0.69とともに、全国平均である「1」を下回っている。

1人当たりの付加価値額は411万円と、全産業の平均値である789万円を大きく下回っている。また、従業者数比率は0.45%と域内従業者全体に占める割合も小さい。

表 農林水産業の各指標

大分類（宇治市産業連関表）				中分類（経済センサス）				
産業連関表業種分類		特性		経済センサス産業中分類		特性		
コード	業種	項目	特性値	出所	業種	項目	特性値	出所
01	農林水産業	外貨獲得力（RIC指数）	▲ 724.21	宇治市産業連関表				
		域内波及力（影響力係数）	0.96	宇治市産業連関表				
		特化係数（生産額ベース）	0.16	宇治市産業連関表	農業	特化係数（従業者数ベース）	0.87	経済センサス（平成26年）
		修正特化係数（従業者数ベース）		経済センサス（平成26年）	農業	修正特化係数（従業者数ベース）	0.69	経済センサス（平成26年）
		付加価値力（単位：万円、1人当たりの付加価値額）	411	宇治市産業連関表				
		雇用力（従業者数比率）	0.45	経済センサス（平成28年）				

出所：「宇治市産業連関表」（2014年）、経済センサス（平成26年、平成28年）データを基に作成。

各指標からみる産業別の課題や強み（飲食料品）

「飲食料品」の生産額が市内生産額に占める割合は6.2%と業種別では5番目に高い。

大分類で競争力と影響力についてみると、RIC指数は5.77と製造業全般の平均値（3.79）を上回っているが、影響力係数は「1」と標準値であり、稼ぐ力は強いものの域内波及力はそれほど大きくない。

集積度については、大分類（生産額ベース）では1.65となっている。中分類（従業者数ベース）では、「食料品製造」は特化係数と修正特化係数が「1」を上回り、「飲料・たばこ・飼料製造」では特化係数3.95、修正特化係数3.37ととりわけ高い。また、従業者数比率については、「食料品製造」は4.14%と地域における雇用に貢献している。

1人当たりの付加価値額については、7頁の製造業平均は791万円であるが、任天堂などの「その他の製造工業製品」の影響が大きいと、9頁以降では「その他の製造工業製品」を除いた**製造業平均（565万円）**で比較することとする。そうすると、飲食料品は690万円と平均を上回っている。

表 飲食料品の各指標

大分類（宇治市産業連関表）					中分類（経済センサス）			
産業連関表業種分類		特性			経済センサス産業中分類		特性	
コード	業種	項目	特性値	出所	業種	項目	特性値	出所
11	飲食料品	外貨獲得力（RIC指数）	5.77	宇治市産業連関表				
		域内波及力（影響力係数）	1.00	宇治市産業連関表				
		特化係数（生産額ベース）	1.65	宇治市産業連関表	食料品製造	特化係数（従業者数ベース）	1.77	経済センサス （平成26年）
					飲料・たばこ・飼料製造		3.95	
		修正特化係数（従業者数ベース）		経済センサス （平成26年）	食料品製造	修正特化係数（従業者数ベース）	1.53	経済センサス （平成26年）
					飲料・たばこ・飼料製造		3.37	
		付加価値力（単位：万円、 1人当たりの付加価値額）	690	宇治市産業連関表				
雇用力（従業者数比率）		経済センサス （平成28年）	食料品製造	雇用力（従業者数比率）				
			飲料・たばこ・飼料製造		1.01			

出所：「宇治市産業連関表」（2014年）、経済センサス（平成26年、平成28年）データを基に作成。

各指標からみる産業別の課題や強み（化学製品）

「化学製品」の生産額が市内生産額に占める割合は2.6%となっている。

大分類で競争力と影響力についてみると、影響力係数は「1」を上回っているが、RIC指数は▲53.43と稼ぐ力がやや弱い。1人当たりの付加価値額についても559万円と製造業平均（565万円）を下回っており、稼ぐ力と生産性に課題があると考えられる。

集積度については、大分類（生産額ベース）では0.87と「1」を下回っているが、中分類（従業者数ベース）では「化学工業」は特化係数2.92、修正特化係数2.81とともに「1」を上回っており、集積度は高い。

表 化学製品の各指標

大分類（宇治市産業連関表）					中分類（経済センサス）			
産業連関表業種分類		特性			経済センサス産業中分類		特性	
コード	業種	項目	特性値	出所	業種	項目	特性値	出所
20	化学製品	外貨獲得力（RIC指数）	▲ 53.43	宇治市産業連関表				
		域内波及力（影響力係数）	1.02	宇治市産業連関表				
		特化係数（生産額ベース）	0.87	宇治市産業連関表	化学工業	特化係数（従業者数ベース）	2.92	経済センサス（平成26年）
		修正特化係数（従業者数ベース）		経済センサス（平成26年）	化学工業	修正特化係数（従業者数ベース）	2.81	経済センサス（平成26年）
		付加価値力（単位：万円、1人当たりの付加価値額）	559	宇治市産業連関表				
		雇用力（従業者数比率）		経済センサス（平成28年）				

出所：「宇治市産業連関表」（2014年）、経済センサス（平成26年、平成28年）データを基に作成。

各指標からみる産業別の課題や強み（プラスチック・ゴム）

「プラスチック・ゴム」の生産額が市内生産額に占める割合は3.3%と製造業のなかでも比較的大きい。

大分類で競争力と影響力についてみると、RIC指数は8.66と製造業全般の平均値（3.79）を上回っているが、影響力係数は「1」をわずかに下回っており、稼ぐ力が強い産業である一方、域内波及力はそれほど大きくない。1人当たりの付加価値額をみると、524万円と製造業の平均（565万円）を下回っていることから、稼ぐ力はあるものの、生産性に課題があると考えられる。

集積度については、大分類（生産額ベース）では、2.43、中分類（従業者数ベース）では、「プラスチック製品製造業」は特化係数3.24、修正特化係数は3.42とともに「1」を上回っており、集積度が高い。なお、「プラスチック製品製造業」の集積度が高いのは、ユニチカの宇治工場が立地しているためである。

表 プラスチック・ゴムの各指標

大分類（宇治市産業連関表）				中分類（経済センサス）				
産業連関表業種分類		特性			経済センサス産業中分類		特性	
コード	業種	項目	特性値	出所	業種	項目	特性値	出所
22	プラスチック・ ゴム	外貨獲得力（RIC指数）	8.66	宇治市産業連関表				
		域内波及力（影響力係数）	0.98	宇治市産業連関表				
		特化係数（生産額ベース）	2.43	宇治市産業連関表	プラスチック製品製造業	特化係数（従業者数ベース）	3.24	経済センサス （平成26年）
					ゴム製品製造業		0.15	
		修正特化係数（従業者数ベース）		経済センサス （平成26年）	プラスチック製品製造業	修正特化係数（従業者数ベース）	3.42	経済センサス （平成26年）
					ゴム製品製造業		0.16	
付加価値力（単位：万円、 1人当たりの付加価値額）	524	宇治市産業連関表						
雇用力（従業者数比率）		経済センサス （平成28年）					プラスチック製品製造業	雇用力（従業者数比率）
			ゴム製品製造業	0.07				

出所：「宇治市産業連関表」（2014年）、経済センサス（平成26年、平成28年）データを基に作成。

各指標からみる産業別の課題や強み（金属製品）

「金属製品」の生産額が市内生産額に占める割合は0.5%となっている。

大分類で競争力と影響力についてみると、RIC指数は▲165.02と製造業全般の平均値（3.79）を大きく下回り、影響力係数も「1」を下回っている。1人当たりの付加価値額についても、244万円と製造業の平均（565万円）を大きく下回っており、稼ぐ力や生産性に課題があることがうかがえる。

集積度については、大分類（生産額ベース）、中分類（従業者数ベース）ともに「1」を下回っているが、従業者数比率は1.21と製造業のなかでは比較的高い。

表 金属製品の各指標

大分類（宇治市産業連関表）					中分類（経済センサス）			
産業連関表業種分類		特性			経済センサス産業中分類		特性	
コード	業種	項目	特性値	出所	業種	項目	特性値	出所
28	金属製品	外貨獲得力（RIC指数）	▲ 165.02	宇治市産業連関表				
		域内波及力（影響力係数）	0.96	宇治市産業連関表				
		特化係数（生産額ベース）	0.42	宇治市産業連関表	金属製品製造業	特化係数（従業者数ベース）	0.78	経済センサス（平成26年）
		修正特化係数（従業者数ベース）		経済センサス（平成26年）	金属製品製造業	修正特化係数（従業者数ベース）	0.77	経済センサス（平成26年）
		付加価値力（単位：万円、1人当たりの付加価値額）	244	宇治市産業連関表				
		雇用力（従業者数比率）		経済センサス（平成28年）				

出所：「宇治市産業連関表」（2014年）、経済センサス（平成26年、平成28年）データを基に作成。

各指標からみる産業別の課題や強み（生産用機械）

「生産用機械」の生産額が市内生産額に占める割合は1.8%となっている。

大分類で競争力と影響力についてみると、RIC指数は30.3と製造業全般の平均値（3.79）を大きく上回っているが、影響力係数は「1」を下回っている。一方、1人当たりの付加価値額をみると、600万円と製造業の平均（565万円）を上回っていることから、域内波及力は大きくないが、稼ぐ力と生産性に強みのある産業といえる。

集積度については、大分類（生産額ベース）、中分類（従業者数ベース）ともに「1」を上回っており、従業者数比率も1.91%と製造業のなかでは比較的高い。

表 生産用機械の各指標

大分類（宇治市産業連関表）					中分類（経済センサス）						
産業連関表業種分類		特性			経済センサス産業中分類		特性				
コード	業種	項目	特性値	出所	業種	項目	特性値	出所			
30	生産用機械	外貨獲得力（RIC指数）	30.29	宇治市産業連関表	生産用機械器具製造業	特化係数（従業者数ベース）	1.66	経済センサス（平成26年）			
		域内波及力（影響力係数）	0.98	宇治市産業連関表							
		特化係数（生産額ベース）	1.15	宇治市産業連関表							
		修正特化係数（従業者数ベース）		経済センサス（平成26年）					修正特化係数（従業者数ベース）	2.49	経済センサス（平成26年）
		付加価値力（単位：万円、1人当たりの付加価値額）	600	宇治市産業連関表							
		雇用力（従業者数比率）		経済センサス（平成28年）					雇用力（従業者数比率）	1.91	経済センサス（平成28年）

出所：「宇治市産業連関表」（2014年）、経済センサス（平成26年、平成28年）データを基に作成。

各指標からみる産業別の課題や強み（電子部品）

「電子部品」の生産額が市内生産額に占める割合は3.9%と、製造業のなかでも比較的大きい。

大分類で競争力と影響力についてみると、RIC指数は65.6と業種別では2番目に大きく、稼ぐ力が強い。また、影響力係数も「1」を上回っている。

一方、1人当たりの付加価値額については、492万円と製造業の平均（565万円）を下回っている。

集積度については、大分類（生産額ベース）では2.77、中分類（従業者数ベース）では、「電子部品・デバイス・電子回路製造業」は特化係数4.14、修正特化係数5.11と「1」を大きく上回っている。また、従業者数比率も1.97%と製造業のなかでは比較的高い。

なお、「電子部品・デバイス・電子回路製造業」における集積度が高いのは、パナソニックの宇治工場が立地しているためである。

表 電子部品の各指標

大分類（宇治市産業連関表）				中分類（経済センサス）				
産業連関表業種分類		特性		経済センサス産業中分類		特性		
コード	業種	項目	特性値	出所	業種	項目	特性値	出所
32	電子部品	外貨獲得力（RIC指数）	65.60	宇治市産業連関表				
		域内波及力（影響力係数）	1.01	宇治市産業連関表				
		特化係数（生産額ベース）	2.77	宇治市産業連関表	電子部品・デバイス・電子回路製造業	特化係数（従業者数ベース）	4.14	経済センサス（平成26年）
		修正特化係数（従業者数ベース）		経済センサス（平成26年）	電子部品・デバイス・電子回路製造業	修正特化係数（従業者数ベース）	5.11	経済センサス（平成26年）
		付加価値力（単位：万円、1人当たりの付加価値額）	492	宇治市産業連関表				
		雇用力（従業者数比率）		経済センサス（平成28年）				

出所：「宇治市産業連関表」（2014年）、経済センサス（平成26年、平成28年）データを基に作成。

各指標からみる産業別の課題や強み（電気機械）

「電気機械」の生産額が市内生産額に占める割合は1.0%となっている。

大分類で競争力と影響力についてみると、RIC指数は▲39.59と製造業全般の平均値（3.79）も大きく下回っている。また、1人当たりの付加価値額についても、542万円と製造業の平均（565万円）を下回り、稼ぐ力と生産性に課題があることがうかがえる。

集積度については、大分類（生産額ベース）では0.61と「1」を下回っている。中分類（従業者数ベース）では、「電気機械器具製造業」は特化係数0.98であるが、修正特化係数は1.11と「1」を上回っており、国際的にみた集積度は比較的高い。

表 電気機械の各指標

大分類（宇治市産業連関表）				中分類（経済センサス）				
産業連関表業種分類		特性		経済センサス産業中分類		特性		
コード	業種	項目	特性値	出所	業種	項目	特性値	出所
33	電気機械	外貨獲得力（RIC指数）	▲ 39.59	宇治市産業連関表				
		域内波及力（影響力係数）	0.99	宇治市産業連関表				
		特化係数（生産額ベース）	0.61	宇治市産業連関表	電気機械器具製造業	特化係数（従業者数ベース）	0.98	経済センサス（平成26年）
		修正特化係数（従業者数ベース）		経済センサス（平成26年）	電気機械器具製造業	修正特化係数（従業者数ベース）	1.11	経済センサス（平成26年）
		付加価値力（単位：万円、1人当たりの付加価値額）	542	宇治市産業連関表				
		雇用力（従業者数比率）		経済センサス（平成28年）				

出所：「宇治市産業連関表」（2014年）、経済センサス（平成26年、平成28年）データを基に作成。

各指標からみる産業別の課題や強み（輸送機械）

「輸送機械」の生産額が市内生産額に占める割合は3.2%と、製造業のなかでも比較的大きい。

大分類で競争力と影響力についてみると、RIC指数は6.93と製造業全般の平均値（3.79）を上回っている。影響力係数も1.05と「1」を上回り、業種別では5番目に高いことから、稼ぐ力が強く、域内波及力のある産業といえる。

また、1人当たりの付加価値額についても、1,118万円と製造業の平均（565万円）を大きく上回っている。

集積度については、大分類（生産額ベース）、中分類（従業者数ベース）ともに「1」を下回っている。

表 輸送機械の各指標

大分類（宇治市産業関連表）				中分類（経済センサス）				
産業関連表業種分類		特性		経済センサス産業中分類		特性		
コード	業種	項目	特性値	出所	業種	項目	特性値	出所
35	輸送機械	外貨獲得力（RIC指数）	6.93	宇治市産業関連表				
		域内波及力（影響力係数）	1.05	宇治市産業関連表				
		特化係数（生産額ベース）	0.66	宇治市産業関連表	輸送用機械器具製造業	特化係数（従業者数ベース）	0.51	経済センサス（平成26年）
		修正特化係数（従業者数ベース）		経済センサス（平成26年）	輸送用機械器具製造業	修正特化係数（従業者数ベース）	0.70	経済センサス（平成26年）
		付加価値力（単位：万円、1人当たりの付加価値額）	1,118	宇治市産業関連表				
		雇用力（従業者数比率）		経済センサス（平成28年）				

出所：「宇治市産業関連表」（2014年）、経済センサス（平成26年、平成28年）データを基に作成。

各指標からみる産業別の課題や強み（その他の製造工業製品）

「その他の製造工業製品」の生産額が市内生産額に占める割合は9%と、業種別で3番目に大きい。

大分類で競争力と影響力についてみると、RIC指数も78.86と業種別では最も大きく、製造業全般の平均値（3.79）も上回っていることから、稼働力が強い。また、影響力係数も1.002と「1」を幾分上回っている。1人当たりの付加価値額についても、3,575万円と製造業のなかで最も大きい。

集積度については、大分類（生産額ベース）では8.5となっている。中分類（従業者数ベース）では、玩具等の「その他の製造業」は特化係数2.21、修正特化係数1.62とともに「1」を上回っており、集積度が高い。

なお、「その他の製造業」の集積度が高いのは、任天堂の宇治工場が立地しているためと思われる。

表 その他の製造工業製品の各指標

大分類（宇治市産業連関表）					中分類（経済センサス）					
産業連関表業種分類		特性			経済センサス産業中分類		特性			
コード	業種	項目	特性値	出所	業種	項目	特性値	出所		
39	その他の製造工業製品	外貨獲得力（RIC指数）	78.86	宇治市産業連関表						
		域内波及力（影響力係数）	1.00	宇治市産業連関表						
		特化係数□（生産額ベース）	8.50	宇治市産業連関表	印刷・同関連業	特化係数（従業者数ベース）	0.98	経済センサス（平成26年）		
					なめし革・同製品・毛皮製造業		0.37			
					その他の製造業		2.21			
		修正特化係数（従業者数ベース）	/	経済センサス（平成26年）	印刷・同関連業	修正特化係数（従業者数ベース）	0.98	経済センサス（平成26年）		
					なめし革・同製品・毛皮製造業		0.12			
					その他の製造業		1.62			
		付加価値力（単位：万円、1人当たりの付加価値額）	3,575	宇治市産業連関表						
		雇用力（従業者数比率）	/	経済センサス（平成28年）					印刷・同関連業	雇用力（従業者数比率）
なめし革・同製品・毛皮製造業	0.02									
その他の製造業	0.44									

出所：「宇治市産業連関表」（2014年）、経済センサス（平成26年、平成28年）データを基に作成。

各指標からみる産業別の課題や強み（建設）

「建設」の生産額が市内生産額に占める割合は5.8%と比較的大きい。

大分類で競争力と影響力についてみると、産業連関表上、移輸出・移輸入は計上されないため、RIC指数は0となっている。1人当たりの付加価値額は961万円と、全産業の平均値である789万円を上回っている。

集積度については、大分類（生産額ベース）では「1」を上回っているが、中分類（従業者数ベース）では、各業種で特化係数、修正特化係数は「1」を下回っている。従業者数ベースでみると集積度は低いが、1人当たりの付加価値額は高く、生産性は比較的高いといえる。

従業者数比率については、大分類の「建設」は4.77%と比較的高い。また、中分類の「総合工事業」は2.61%と業種別では8番目に高く、地域の雇用に貢献している。

表 建設の各指標

大分類（宇治市産業連関表）				中分類（経済センサス）						
産業連関表業種分類		特性		経済センサス産業中分類		特性				
コード	業種	項目	特性値	出所	業種	項目	特性値	出所		
41	建設	外貨獲得力（RIC指数）	0.00	宇治市産業連関表						
		域内波及力（影響力係数）	0.99	宇治市産業連関表						
		特化係数□生産額ベース	1.04	宇治市産業連関表	総合工事業	特化係数（従業者数ベース）	0.71	経済センサス （平成26年）		
					職別工事業（設備工事業を除く）		0.62			
					設備工事業		0.59			
		修正特化係数（従業者数ベース）	/	経済センサス （平成26年）	総合工事業	修正特化係数（従業者数ベース）	0.71	経済センサス （平成26年）		
					職別工事業（設備工事業を除く）		0.62			
					設備工事業		0.59			
		付加価値力（単位：万円、1人当たりの付加価値額）	961	宇治市産業連関表						
		雇用力（従業者数比率）	4.77	経済センサス （平成28年）					総合工事業	雇用力（従業者数比率）
職別工事業（設備工事業を除く）	1.04									
設備工事業	1.12									

出所：「宇治市産業連関表」（2014年）、経済センサス（平成26年、平成28年）データを基に作成。

各指標からみる産業別の課題や強み（商業①）

「商業」の生産額が市内生産額に占める割合は8.4%と業種別で4番目に大きい。

大分類で競争力と影響力についてみると、RIC指数は▲38.78と大幅なマイナスであり、稼ぐ力が弱い。

集積度については、大分類（生産額ベース）では「1」を上回っているが、中分類（従業者数ベース）では、総合スーパーなどの「各種商品小売業」、菓子・パン小売業などの「飲食料品小売業」、自動車小売業などの「機械器具小売業」などでは、「1」を上回っており、集積度が高くなっている。

表 商業（小売・卸売業）の各指標

大分類（宇治市産業連関表）				中分類（経済センサス）								
産業連関表業種分類	特性			経済センサス産業中分類	特性							
コード	業種	項目	特性値	出所	業種	項目	特性値	出所				
51	商業	外貨獲得力（RIC指数）	▲38.78	宇治市産業連関表								
		域内波及力（影響力係数）	1.00	宇治市産業連関表								
		特化係数□生産額ベース）	0.84	宇治市産業連関表					各種商品卸売業	0.00	特化係数（従業者数ベース）	経済センサス （平成26年）
									繊維・衣服等卸売業	0.32		
									飲食料品卸売業	0.68		
									建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	0.38		
									機械器具卸売業	0.29		
									その他の卸売業	0.33		
									各種商品小売業	1.52		
									繊維・衣服・身の回り品小売業	0.60		
									飲食料品小売業	1.39		
									機械器具小売業	1.17		
									その他の小売業	0.93		
									無店舗小売業	1.02		
		修正特化係数（従業者数ベース）		経済センサス （平成26年）					各種商品卸売業	0.00	修正特化係数（従業者数ベース）	経済センサス （平成26年）
									繊維・衣服等卸売業	0.34		
									飲食料品卸売業	0.73		
									建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	0.65		
									機械器具卸売業	0.31		
									その他の卸売業	0.36		
各種商品小売業	1.64											
繊維・衣服・身の回り品小売業	0.65											
飲食料品小売業	1.50											
機械器具小売業	1.26											
その他の小売業	1.00											
無店舗小売業	1.10											

出所：「宇治市産業連関表」（2014年）、経済センサス（平成26年）データを基に作成。

各指標からみる産業別の課題や強み（商業②）

「商業」の1人当たりの付加価値額は476万円と、全産業の平均値である789万円を大きく下回っている。

一方、従業者数比率は、「商業」は19.89%と産業全体の約2割を占めており、地域の雇用に貢献している。中分類では、「飲食料品小売業」が8.44%、医薬品や化粧品小売業などの「その他の小売業」が4.41%で従業者数比率が高い。

表 商業（小売・卸売業）の各指標

大分類（宇治市産業連関表）					中分類（経済センサス）				
産業連関表業種分類		特性			経済センサス産業中分類		特性		
コード	業種	項目	特性値	出所	業種	項目	特性値	出所	
51	商業	付加価値力（単位：万円、1人当たりの付加価値額）	476	宇治市産業連関表					
		雇用力（従業者数比率）	19.89	経済センサス（平成28年）	各種商品卸売業	雇用力（従業者数比率）	経済センサス（平成28年）	0.00	
					繊維・衣服等卸売業			0.16	
					飲食料品卸売業			0.95	
					建築材料、鉱物・金属材料等卸売業			0.52	
					機械器具卸売業			0.64	
					その他の卸売業			0.61	
					各種商品小売業			1.22	
					織物・衣服・身の回り品小売業			0.81	
					飲食料品小売業			8.44	
					機械器具小売業			1.77	
					その他の小売業			4.41	
無店舗小売業	0.34								

出所：出所：「宇治市産業連関表」（2014年）、経済センサス（平成26年、平成28年）データを基に作成。

各指標からみる産業別の課題や強み（医療、福祉）

「医療、福祉」の生産額が市内生産額に占める割合は9.6%と業種別で2番目に大きい。

大分類で競争力と影響力についてみると、RIC指数は5.73とプラスであるが、影響力係数は「1」を下回っており、域内波及力はそれほど大きくない。1人当たりの付加価値額は474万円と、全産業の平均値である789万円を大きく下回っている。

集積度については、大分類（生産額ベース）、中分類（従業者数ベース）ともに特化係数、修正特化係数は「1」を上回っている。

従業者数比率については、大分類の「医療、福祉」は18.3%を占めている。中分類では、「医療業」は11.03%、「社会保険・社会福祉・介護事業」は7.26%と地域の雇用に貢献している。

表 医療、福祉の各指標

大分類（宇治市産業連関表）				中分類（経済センサス）						
産業連関表業種分類		特性		経済センサス産業中分類		特性				
コード	業種	項目	特性値	出所	業種	項目	特性値	出所		
64	医療、福祉	外貨獲得力（RIC指数）	5.73	宇治市産業連関表						
		域内波及力（影響力係数）	0.99	宇治市産業連関表						
		特化係数□（生産額ベース）	1.50	宇治市産業連関表	医療業	特化係数（従業者数ベース）	1.64	経済センサス （平成26年）		
					保健衛生		2.09			
					社会保険・社会福祉・介護事業		1.09			
		修正特化係数（従業者数ベース）	/	経済センサス （平成26年）	医療業	修正特化係数（従業者数ベース）	1.64	経済センサス （平成26年）		
					保健衛生		2.09			
					社会保険・社会福祉・介護事業		1.09			
		付加価値力（単位：万円、1人当たりの付加価値額）	474	宇治市産業連関表						
		雇用力（従業者数比率）	18.30	経済センサス （平成28年）					医療業	雇用力（従業者数比率）
保健衛生	0.01									
社会保険・社会福祉・介護事業	7.26									

出所：「宇治市産業連関表」（2014年）、経済センサス（平成26年、平成28年）データを基に作成。

各指標からみる産業別の課題や強み（対個人サービス①）

「商業」の生産額が市内生産額に占める割合は4.7%となっている。

大分類で競争力と影響力についてみると、RIC指数は▲20.74と大幅なマイナスであり、稼ぐ力が弱い、影響力係数は「1」を上回っている。

集積度については、大分類（生産額ベース）では0.83と「1」を下回っている。中分類（従業者数ベース）では、洗濯業、美容業などの「洗濯・理容・美容・浴場業」は「1」を上回り、集積度が高くなっているが、「宿泊業」、「飲食店」はともに「1」を下回っている。

表 対個人サービスの各指標

大分類（宇治市産業連関表）					中分類（経済センサス）			
産業連関表業種分類		特性			経済センサス産業中分類		特性	
コード	業種	項目	特性値	出所	業種	項目	特性値	出所
67	対個人サービス	外貨獲得力（RIC指数）	▲ 20.74	宇治市産業連関表				
		域内波及力（影響力係数）	1.01	宇治市産業連関表				
		特化係数（生産額ベース）	0.83	宇治市産業連関表	宿泊業	0.21	特化係数（従業者数ベース）	経済センサス （平成26年）
					飲食店	0.92		
					持ち帰り・配達飲食サービス業	0.77		
					洗濯・理容・美容・浴場業	1.37		
					その他の生活関連サービス業	0.70		
		修正特化係数（従業者数ベース）	/	経済センサス （平成26年）	娯楽業	1.15	修正特化係数（従業者数ベース）	経済センサス （平成26年）
					宿泊業	0.20		
					飲食店	0.91		
持ち帰り・配達飲食サービス業	0.76							
洗濯・理容・美容・浴場業	1.37							
その他の生活関連サービス業	0.72							
娯楽業	1.13							

出所：「宇治市産業連関表」（2014年）、経済センサス（平成26年）データを基に作成。

各指標からみる産業別の課題や強み（対個人サービス②）

「対個人サービス」の1人当たりの付加価値額は310万円と、全産業の平均値である789万円を大きく下回っている。

一方、従業者数比率は、大分類の「対個人サービス」が14.08%を占めている。中分類では「飲食店」が7.58%、「洗濯・理容・美容・浴場業」が2.97%と地域の雇用に貢献している。

表 対個人サービスの各指標

大分類（宇治市産業連関表）					中分類（経済センサス）			
産業連関表業種分類		特性			経済センサス産業中分類		特性	
コード	業種	項目	特性値	出所	業種	項目	特性値	出所
67	対個人サービス	付加価値力（単位：万円、1人当たりの付加価値額）	310	宇治市産業連関表				
		雇用力（従業者数比率）	14.08	経済センサス（平成28年）	宿泊業	雇用力（従業者数比率）	0.23	経済センサス（平成28年）
					飲食店		7.58	
					持ち帰り・配達飲食サービス業		1.20	
					洗濯・理容・美容・浴場業		2.97	
					その他の生活関連サービス業		0.49	
娯楽業	1.60							

出所：出所：「宇治市産業連関表」（2014年）、経済センサス（平成26年、平成28年）データを基に作成。